

人生をここで始め、ここで終わりたいくなるような街

<はじめに>

私の題名とし、考えた「人生をここで始め、ここで終わりたいくなるような街」とは、簡潔に言うと、皆にやさしい街です。つまり、子供からお年よりまで、また、障害者まで過ごしやすい街ということです。健康的で明るい街づくりを目指したいと考えます。ここで生まれ、死ぬ時もここで死にたいと言われるようなそんな街を想像したいと思います。これから、街の構造を分割して見ていきたいと思います。

<街の全体構造>

皆が過ごしやすい街となるためには、やはり、住環境の確保は絶対的に必要なことだと思います。繁華街や商業地（中心街）とはっきり分離し、住宅地と商業地が集中することなく、分散させることが理想的だと考えられます。街の偏りが衰退などの様々な問題を引き起すことと思うので、人口や商業地の規模が偏ることなく、なるべく均等に分散させることを提案したいと思います。

<住宅地域の構造>

住む環境にはこだわりたいと思います。住宅地域は静かで中心には公園などを造り、緑を多く取り入れた方が良くと思います。それにより子供達が健康的に遊べ、また、高齢者は空気がきれいな所に住んでもらうというのがねらいです。もちろん、障害者も同様です。商業地と住宅地が無秩序に入り交ざって造られることは騒音など問題を引き起すことになるので、絶対的に避けるべきです。

<繁華街・商業地（中心街）の構造>

中心街は一極集中型にならないようにいくつかに分散します。そして、それぞれの特徴を出していけるようにしたいと思います。繁華街・商業地はやはり明るく、活気があります。もちろん人も多く集まります。車の渋滞も起きるでしょう。そこではやはり事故も増えてきます。私の考える街は「皆にやさしい街」ですから、事故ゼロを目指し、また、お年よりや障害者が何の気兼ねもなく、訪れることができるようにしたいと思います。車と歩行者による事故を減らすにはやはり歩道橋もしくは地下道を増やすべきだと思います。しかし、普通の歩道橋や地下道ではいけません。車椅子の障害者でも通れるものにしたいと思います。一般の人が通る階段の側方に車椅子専用のスペースを造り、そこを自動で動かせるようにし、安全で的確に運べるようにしたいと思います。また歩道橋や地下道があれば、車の右左折待ちが円滑に流れ渋滞解消につながると思います。

<おわりに>

これまで簡単に案を挙げましたが、住みよい街とは一言でいっても、実際どうすれば住みよい街になるのかなかなか難しいことだと思います。一方は満足しても、もう一方はそれによる問題が生まれ、派閥が起こってしまうというケースも多いはずです。やはり、同じ地域に住む人々は自分のことだけでなく、皆のことも考える精神を持たないと、住みよい街づくりはできないのではないのでしょうか。